

## 美しいこけしがお出迎え

### 工人たちがこけしを清掃

4月19日、市内のこけし工人たちが、いきいきプラザ前にある桜橋の欄干上のこけし像を清掃しました。この活動は、全日本こけしコンクールを前に、訪れた観光客をきれいなこけしでお出迎えしようと平成24年から実施。桜橋のほか、白石第一高架橋や弥治郎橋の橋梁上部に設置しているこけし像計12基の汚れをふき取ってきれいにしました。作業に参加した工人は「たくさんのお客さんがこけしコンクールに来てくれて、こけしを好きになってくれるとうれしいですね」とさわやかな笑顔で話してくれました。



1・2 心を込めてこけしを清掃する工人たち

## 元気な演舞で笑顔満載！

### 第4回YOSAKOI in 白石城

4月23日、「第4回YOSAKOI in 白石城」が開催されました。晴天に恵まれたこの日は、宮城県と福島県のよさこい団体18組250人が白石城に集結。日頃の練習の成果を発揮し、はつらつとした笑顔で躍動感ある演舞を披露しました。各団体の色とりどりの旗も力強くはためかせ、演舞に華を添えました。最後は観客も引き入れた総踊りで締めくり、会場全体が大いに盛り上がりました。

来場者は「今年は参加団体が多くて見応えがありました。よさこいを見ると元気をもらえるので、来年も期待しています」と話してくれました。



▲鳴子を手に笑顔で踊るよさこい団体の皆さん

## 100歳おめでとうございます

### 青木倫子さんに松竹梅敬老祝金

4月20日に100歳を迎えた青木倫子さんを山田市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝いました。

倫子さんは市内南町のお生まれ。若い頃に小学校の教員を11年ほど勤め、結婚後は子育てをしながら夫の家業を手伝い家庭を支えてきました。お子さん1人を育て、現在は孫が1人います。普段の生活では、新聞やテレビのニュースで世の中の出来事を確認したり、ペンを取り手紙を書いたりしています。倫子さんは、長寿の秘訣を「家族の元気な顔を見ること。家族に守られて長生きできました」と笑顔で話してくれました。



▲山田市長からの祝福に笑顔の倫子さん

## 和紙が醸し出す優しいあかり

### 和紙あかり製作ワークショップ

5月14日、壽丸屋敷で「白石和紙あかり製作ワークショップ」が開催されました。この催しは、まちづくり団体「蔵富人」が主催し、市内のほか、仙台市や蔵王町、岩手県一関市などから21人が参加。木の枝などで骨組みを作り、蔵富人が栽培から手がけた17種類の和紙を使って、思い思いのあかり作りを楽しんでいました。製作した作品は、8月の夏まつりに合わせて壽丸屋敷で展示して市民の皆さんにご覧いただけます。またワークショップは、第2回を6月18日に、第3回を7月9日に開催。興味のある方はぜひ参加してみてください。



▲思い思いのあかりを作る参加者たち

## 伝統芸能の継承と発展のために

### 第40回城の会

5月5日、白石城本丸広場で「第40回城の会」が開催されました。40回目を迎えたこのイベントは、白石の伝統芸能の継承と発展を目指して毎年開催され、市内外で活躍する方々が能や仕舞、日本舞踊などの伝統芸能を披露しました。この日は多くの流派が出演したほか、白石高等学校箏曲部とマンドリン部の演奏、白石城野点研究会と白石高等学校茶道部による野点も行われました。

野点では和菓子と抹茶が振る舞われ、青空と新緑のなかで伝統芸能に触れながら、大人から子どもまで楽しいひとときを過ごしていました。



▲なじみある曲を箏で演奏する白石高等学校箏曲部の皆さん

## 桜とこいのぼり 春の小原を満喫

### 第14回春の検断屋敷まつり

4月29日、「第14回春の検断屋敷まつり」が材木岩公園で開催されました。晴天に恵まれたこの日は、市内外から多くの人々が来場。まつりの開会式で、同まつり実行委員会岩松義則委員長が「800匹のこいのぼりの元気を感じて思い出に残るまつりにできたらうれしいです」とあいさつ。まつりは、カラオケ大会やだるま落としゲーム、紙ヒコーキ飛ばし競技など楽しいイベントが行われ、たくさんの方が参加していました。訪れた人たちは、桜の舞う大空を元気に泳ぐこいのぼりと記念撮影をするなど、春の小原を満喫していました。



1\_雄壮に泳ぐこいのぼり 2\_自分で作った紙飛行機を飛ばす参加者

## 地域を見守り続け100年！

### 「民生委員・児童委員」一斉活動

民生委員制度が創設されて100周年を迎えた5月12日、市内の民生委員・児童委員約90人がすみひろばに集まり、高齢者世帯などを対象とした一斉訪問活動の出発式を行いました。対象は一人暮らしや寝たきりなどの高齢者世帯など約2,000世帯で、各地域の委員がご家庭を訪問し、相談に応じて必要な支援を行っていきます。出発式では「広げよう 地域に根ざした 思いやり」と行動宣言を全員で読み上げ、これからの活動の意識高揚を図りました。日常生活での困りごとや児童に関する相談は、各地域の民生委員・児童委員にご相談ください。



▲出発式で行動宣言を唱和する民生委員・児童委員の皆さん

## 子どもたちに夢をプレゼント

### 白石ライオンズクラブが楽天戦チケットを寄付

5月12日、白石ライオンズクラブがプロ野球楽天イーグルスの観戦チケットを市へ寄付しました。同クラブは、昭和36年に結成。これまで沢端川に約130匹のコイを放流したり、白石城歴史探訪ミュージアム前にソーラー式時計を設置したりするなど、多くの社会奉仕活動を行ってきました。このほど会員の減少や高齢化のため、6月末でクラブを解散。最後の奉仕活動に、子どもたちへ野球の楽しさやプロ選手の凄さを体感してもらおうと今季の30試合（60席）分が渡されました。市内小中学校を通じて児童・生徒などへ贈る予定です。



1\_一塁側にある観戦席 2\_菊地副市長へチケットを渡す森善一同クラブ会計(右)